

白楊ヶ丘札幌

令和7年 8月29日
白楊ヶ丘同窓会札幌支部
〒060-0061
札幌市中央区南1条西9丁目
アルファ西9丁目ビル3階
ほっかい法律事務所内

母校の百三十周年を祝して



札幌支部 支部長

黒田 信彦

(第七三期・昭和四十六年卒)

白楊ヶ丘同窓会札幌支部の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃から同窓会の活動に対しましては、一方ならぬご支援を賜り感謝申し上げます。本年度も皆様方のお陰で総会・懇親会を開催できる運びになりましたことに対して厚くお礼申し上げます。

さて、今年度は母校百三十周年の記念すべき年になり、十月の記念式典に向けて準備が進められており盛会になることを期待しています。皆様ご存じの通り、母校は一八八五年（明治二十八年）に函館尋常中学校として開校し、明治三十二年に函館中学校、明治三十四年に旧制中

学校として北海道庁立函館中学校が発足し、四十七年後の昭和二十三年に北海道立函館高等学校（私の在学中の学生帽には「函高」の記章が付いていた）に改名し、昭和二十五年から現在の校名である北海道函館中部高等学校になり七十五年目になります。日本の学校の歴史を振り返ると、本州では藩校から数えて五百年以上の歴史を有する公立高校は相当数存在しており、宗教法人が設立した私立高校にも長い歴史をもつ高校が多く、我が国は人材育成のために早くから教育に力を注いでいた先人の知恵の深さに改めて敬意を持つ次第です。

札幌支部では今年度の総会が八月二十九日に開催され、講師として北大名誉教授で北海道脳神経外科記念病院の名誉顧問である五七期の阿部弘様にご講演を頂くことで準備を進めております。阿部先生は北大に初めて脳神経外科が設立された時の一期生と伺っており、貴重なお話をお聞きできることを楽しみにしております。

終わりにあたり、これまで長年にわたって当支部の幹事長を務めてこられた公認会計士・税理士の酒井純様から一〇〇期で弁護士綱森史泰様に交替しました。酒井様には長きにわたり当支部の発展のためにご尽力を頂きましたことに改めて敬意を表し



▲函館中部高等学校 外観

感謝を申し上げます。これからも、札幌支部が益々発展して行くよう役員一同努力を重ねて参りたいと思つ

ており、同窓会の輪が広がっていくことを期待しております。

創立百三十周年を迎えて



白楊ヶ丘同窓会会長

室 田 晴 康

(第七五期・昭和四十八年卒)

白楊ヶ丘同窓会札幌支部の皆様方におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。黒田支部長をはじめ、皆様方の素晴らしい同窓会活動に敬意を表します。

全国的に厳しい暑さが続いております。函館も最近猛暑日が続いており、クーラー無しでは生活できない日々です。イカの漁獲量も不良で、イカを目当て

に來ている観光客も残念がついています。これからもこのような状態が続くようであれば残念なことです。

函館中部高校は、明治二十八年四月一日、中等普通教育を司る北海道最初の公立の尋常中学校として誕生。明治三十二年中学校令の改正により、函館中学校と改称、明治三十四年に北海道立函館中学校となりました。明治三十九年に

は、元町校舎から現在地に校舎を新築移転。大正二年函館中学校同窓会が発足、翌年創立二十周年を挙行、校旗制定と校歌（現同窓会歌）選定。昭和二十三年に新学制実施に伴い、北海道立函館高等学校と改称。昭和二十五年函館市内公立高校の統廃合に伴い、北海道函館中部高等学校と改称。小学区制男女共学が実施されました。

いよいよ、函館中部高校は今年創立百三十周年を迎えます。記念事業として十月十八日午前九時より、大泉潤函館市長による記念講演。十一時より記念式典が函館中部高校体育館にて開催されます。学校体育館という限られたスペースではありますが、参加できる同窓生は当日直接学校へ来て下さい。できるだけ多くの同窓生が参加できればと思っております。その後、会場をベルクラシック函館



▲函館山からの夜景

に移し、午後一時三十分より祝賀会を開催致します。祝賀会は人数に制限はありませんので、多くの同窓生の参加をお願い致します。

記念事業として、百三周年記念誌の発行、在校生の為の学校教育環境整備。

同窓会としても、学校側としても以前より懸案でありました資料室の整理及び資料保存室のリニューアルに取り組んできました。関係各位の協力のもと、明治からの約三千点の資料の中から選んだ、貴重な資料・

写真・映像等は約五百点に渡っております。

この度、函館丸井今井デパート七階催事場において、特別展示会を七月十九日より七月二十九日まで開催させていただく運びとなりました。展示では、明治・大正・昭和・平成そして令和と続く学校の歴史、戦時下における厳しい教育環境や戦後の再出発、そして復興と共に歩んだ学校生活の変遷を当時の写真や記録を通してご覧いただけます。田本研造撮影の校舎写真や明治初期の北海道土人画巻

き、明治出版の和装本など貴重資料のほか、函中生一番の思いである「白楊祭」の特集コーナー、「卒業アルバム」「修学旅行」コーナーなども設けております。七月十九日にはオーブンセレーモニターとして私と清水校長によるテープカットを行います、続いて書道部によるパフォーマンスが行われました。同時に函館中部サマーフェスタと称して、開催期間中、ちびっ子書道教室、音楽部コンサート、高校生ボスター研究発表、演劇部による公演。映像・写真・作品・



▲箱館ハイカラ號

ユニフォームなどを通しての各部活動紹介致します。

本校の歩みは、函館市の歴史とも深く結びついており、地域と共に育ってきた

軌跡でもあります。今回の展示が、「函館のまち」の記憶をたどる機会になればと願っております。

東京支部だより

新任ご挨拶と東京支部の活動について



白楊ヶ丘同窓会東京支部長

松 永 久

(第八一期 昭和五十四年卒)

はじめまして。私は、今年度より、東京支部長に就任しました、八一期の松永久(まつなが・ひさし)と申します。九年間東京支部長を務められた白川前支部長(現顧問)よりバトンを引き継ぎました。よろしく願います。

札幌支部の親睦大会には、コロナ前に一度参加させて頂いたことがあります。若

い世代の皆様が多く集まっていたらして、とても活気があったという記憶があります。今年度は、開催日にあいにく杜用があるため、私は参加できませんが、私の同期で八一期の渡邊副支部長が出席します。来年以降、皆様とお会いできることを楽しみにしています。

さて、ここからは、東京支部の活動について少し書

かせて頂きます。

東京支部の主な活動は、これまでも白川支部長のご挨拶で書かせて頂いたかと思いますが、①会報発行、②親睦大会の開催、③新人歓迎会の開催から構成されています。また、昨年度より、若い世代の皆様が参加できる機会を作ろうということで、④新年会の開催も年間行事の一つとしました。このうち、会報については、毎年八月下旬に発行しています。主な内容としては前年度の親睦大会の様子、同窓会活動報告、中部卒業後、多方面で活躍されている人にフォーカスしてご紹介する「函・中・人(かんちゅうじん)」などです。この会報ですが、一昨年度から、卒業生だけにとどまらず、現在の中部高校の学生の皆様の活躍にも焦点を当て、全国・全道大会で活躍している部活動を紹介するコーナーを設けていま



▲▼2025 東京新人歓迎会の様子



す。一昨年度は、夏の甲子園で、十年ぶりに南北海道大会に進出した野球部を、昨年度は全国大会で二作品が優良賞を受賞した放送局、三十年ぶりに全道大会に進出した女子バレー部を取り上げました。その取材した放送局の一人が、今年卒業して東京の大学に進学され、先日開催した新人歓迎会に出席されるなど、

中部高校との繋がりも徐々に始めています。今年度は、SSH（文部科学省が指定する、先進的な理数系教育を通じた国際的な科学技術人材の育成を目指す制度で、全国で二百三十校が対象）。出所：<https://www.jst.go.jp/cpe/sst/> 国立研究開発法人 科学技術振興機構 世代人材育成事業のWeb

サイトより）の指定校として、積極的な研究活動を展開している科学部と、令和七年度の総文祭香川大会への出場を決めた二年生を含む書道部の二つの部活動に焦点を当てました。こうした取り組みと併せ、東京支部の会報の配布を全校生徒に行うことになりました。幸い、本校の清水校長先生は八六期のご卒業

であり、しかも東京支部の新しい取り組みに関してご理解を頂き、取材と配布等に対し多大なご理解・ご支援を頂いています。東京支部として、とても感謝しています。今後は、長年の課題となっている、若い期の皆様が多く参加して頂けるきっかけをできるだけ多く作ることが必要だと考えています。その取り組みの一つとして、上記の④で書かせて頂いた「新年会の開催」を昨年度から開始しました。急な決定であったことから、参加者は十名程度にとどまりましたが、函館東高校（青雲同窓会）の東京支部では、新年会が定番の行事となっており、若手の皆様の参加も結構あるとお聞きしています。こうした取り組みは最初から成功を収めることは難しいと考えているので、まずは継続して開催することで、少し

でも多くの皆様に参加して頂けるようにしようと思っています。

このほか、今年度から、八七期の皆様が中心になり、高尾山登山をすることを計画しているほか、白川前支部長を中心にゴルフ大会の開催も予定しています。こうした取り組みのご報告については、来年度の札幌支部の会報でさせて頂ければと思っています。そして、今年度の取り組みの目玉は、東京支部のサイトを全面的にリニューアルしたことです。八月一日にリニューアルオープンをしたので、是非アクセスしてみてください（<https://kanchu.tokyo/>）。また、今回のリニューアルにより、サイトのレスポンスを改善し、PC、スマートフォン、タブレットなどご使用機器に関わらず楽しんでいただけます。

最後になりますが、今年

は開校百三十年を迎えます。先日函館商業高校の東京支部の親睦大会に参加したところ、函館商業高校は来年で開校百四十年とのことです。長年積み重ねてきた歴史に思いを馳せる良い機会と思っています。東京支部でも、来年度は、第五十回の記念大会を開催します（ただし、コロナの影響で、第四十四回大会は中止となっております。）第一

回の親睦大会は、一九七七年（昭和五十二年）十一月二十二日に三百六十六名の卒業生の皆様が集ったと記録されています。第一回大会のような賑わいを再現することは難しいと思いますが、少しでも多くの会員の皆様にお集まりいただければと思っています。もし、札幌支部の皆様で、来年度の親睦大会に参加を希望される方がいらつしやるようでしたら、是非ご一報下さい。心より歓迎いたします。今後とも東京支部をよろしく願います。

創立130周年 『未来へつなぐ白楊魂』



北海道函館中部高等学校長

清水 信彦

日頃より、黒田信彦支部長様をはじめ白楊ヶ丘同窓会札幌支部の皆様には、本

校の振興と教育活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。本



▲八幡坂

校に赴任して三年目となりましたが、私自身八六期生の同窓会の一員ですので、校長として母校に赴任できたことに喜びと光栄を感じながら、充実した日々を過ごしております。微力ではありますが

ますが、道内有数の歴史と伝統を誇る名門函中のさらなる発展に向けて尽力してまいる所存ですので、よろしくお願い申し上げます。ここで、学校の近況等をご報告させていただきます。

1 創立百三十周年 記念事業

本年度は同窓会・PTAが母体となり設立された協賛会のもとで、表題をスローガンに創立百三十周年記念事業が行われる年となります。昨年九月より整理された本校の資料保存室が見事にリニューアルされ、また本年七月の上旬には白楊祭、下旬には丸井今井函館店にて本校の資料特別展示会及び中部高校生パフォーマンス披露会を開催し、本校の歴史と現役生の活躍を一般の方々に観ていただき大々的にPRしました。さらに、十月十八日には創立百三十周年の栄えある母校の歴史を祝う記念講演、記念式典、祝賀会を挙行いたします。多数の同窓会の皆様のご出席の中で盛大に開催し、新たな発展につなげるスタートにしたいと

強く願っているところです。

2

学校教育目標の改定（理数科設置四年目・SSH指定校第Ⅰ期六年目）

全日制・定時制ともに今年度は学校教育目標を改定し、ぜひ中部高校生には率先して次代の社会を創り出す主体者として活躍する人材の育成を大目標に掲げました。付随した目標には、これからの時代に必要なた「自主、協働、創造」の力の育成を目指す形に改定し、達成に向けた最先端の教育を推進してまいりたいと考えています。

全日制において設置四年目を迎えた理数科では、理科・数学の専門性を追究するスペシャリスト人材を育成し、また文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定

については、今年度は第Ⅱ期申請に向けた経過措置一年目の第Ⅰ期六年目となりましたが、この活動をとおして、全校生徒が自らが問いを立て、その問いを解決するためにデータを活用した探究的な学びを深め、世界で活躍できる科学系人材の育成を目指しています。

3

令和六年度（二〇二四年度）卒業生の進路状況

この三月に卒業した全日制五クラス百九十五名の大学受験等の合格者数は、国立大学が延べ百三十三名（合格率68・2%）、私立大学延べ百八十二名、大学校二名、海外大学一名、専修学校二名となっています。特に、国立大学の内訳は、東京大学三年連続現役合格一名、京都大学三名、大阪大学三名、東北大学

八名、北海道大学十四名、名古屋大学一名の旧帝大合格者計三十名をはじめ、医学部医学科四名、筑波大二名など難関国立大学に多くの合格者を輩出しています。私立

大学においても、早稲田、慶応、明治、法政、立教、中央、青山学院など首都圏の大学に多数の合格者を出し、中部高校生の頑張り実績は北海道内においてもかなり順位を上げ高く評価されています。また、定時制の卒業生一クラス十二名は、国立大学へ三年連続現役合格となる一名をはじめ進学・就職決定率100%となりました。



▲金森赤レンガ倉庫

4

健闘光る部局活動

部局活動については、全校生徒の加入率が全日制約90%、定時制約50%の中、全日制が陸上競技部、テニス部、バレーボール部、卓球部、バドミントン部、剣道部、弓道部、囲碁将棋部、放送

局、書道部、ESS（英語・国際交流）部、科学部、水泳、定時制がバドミントン部、卓球部と数多くの部局が全道大会への出場を果たし、その中でも全日制の陸上競技部、放送局、書道部、科学部、ESS部、定時制の卓球部については、全国大会の出場権を獲得する活躍をみせてくれています。

上記の他にも、英語教育の取組として海外六大学との連携による短期留学制度や医進類型の研究指定事業により医学部を目指す生徒のための教育体制を充実させるなど進化を続けているところであります。

結びになりますが、創立百三十周年を迎えた本校は、これまでも函中ス

ピリット「白楊魂」で創り上げてきた函中生の輝かしい伝統を未来へつなぎ、社会の動向や未来を見据えた最先端の教育活動に積極的に取り組み、

新たな次代を創造する人材を育む生徒主体の教育を推進してまいります。

今後とも同窓生の皆様には、本校の教育活動に對して多大なるご理解と

ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、白楊ヶ丘同窓会札幌支部の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。



▲立待岬

2024年度 収支計算書

白楊ヶ丘同窓会札幌支部

自 2024年4月 1日
至 2025年3月31日

収 入 の 部		
科 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	898,862	
年 会 費	156,000	@2,000円 78名
総会懇親会費	145,000	@5,000円 29名 @3,000円 0名 @1,000円 0名
寄 附 金 収 入	304,000	42名
雑 収 入	30,000	総会祝儀等
預 金 利 息	80	郵便貯金
当期収入合計	635,080	
収 入 合 計	1,533,942	

支 出 の 部		
科 目	金 額	摘 要
総会懇親会費	145,000	会場関係費
講 演 会 費	0	講師旅費・宿泊費・謝礼
印 刷 費	296,208	白楊ヶ丘札幌、総会通知、年会費払込票等印刷費
ホームページ管理費	13,789	
通 信 費	128,084	総会通知、支部報、発送費等
旅 費 交 通 費	50,000	本部・他支部総会参加旅費、その他交通費
会 議 費	49,940	役員・幹事会費
事 務 費	660	文具・消耗品費
振 替 手 数 料	25,834	郵便振替手数料
雑 費	12,530	本部・他支部祝儀・その他雑支出
当期支出合計	722,045	
下期繰越金	811,897	内訳財産目録のとおり
支 出 合 計	1,533,942	

財 産 目 録		
種 類	金 額	摘 要
現 金	148	
振 替 口 座	6,242	
郵 便 貯 金	805,507	
合 計	811,897	

白楊ヶ丘同窓会札幌支部 第42回定期総会・懇親会

令和7年8月29日(金) 午後6時/ホテルノースシティ

講演会

「医療に国境はない」 講演者 阿部 弘 氏

北海道大学名誉教授
北海道脳神経外科記念病院名誉顧問
医学博士



(主な経歴等) 昭和11年4月8日 函館市生まれ

学 歴

昭和36年 3月 北海道大学医学部医学科 卒業
昭和41年 6月 北海道大学大学院医学研究科博士課程 修了

職 歴

昭和41年 5月	北海道大学医学部脳神経外科 助手	平成12年 4月	医療法人溪仁会 顧問
昭和42年 7月	釧路労災病院 部長	平成13年 4月	北海道医療大学 教授
昭和43年 7月	北海道大学医学部脳神経外科 講師	平成16年 5月	医療法人輪生会朝里病院 院長
昭和44年 6月	米国オハイオ州立大学 留学	平成18年 4月	医療法人秀友会札幌秀友会病院 名誉院長
昭和46年12月	北海道大学医学部脳神経外科 講師	平成29年 7月	医療法人社団研仁会北海道脳神経 外科記念病院 名誉顧問
昭和48年 4月	北海道大学医学部脳神経外科 助教授		
昭和59年 4月	北海道大学医学部脳神経外科 教授		
平成 7年 4月	北海道大学医学部附属病院 病院長 併任		
平成 9年 4月	北海道大学医学部附属病院 病院長 退任		
平成12年 3月	定年退官 北海道大学名誉教授		

函館中部高等学校校歌

作詞 函館中部高等学校教諭

藤原直樹

作曲 函館中部高等学校教諭

酒井武雄

一、火柱のはためく峰も

年古りて緑の臥牛

宇賀の浦風の砂山

波よせてくずれ流るる

見よや物なべてうつろふ

窮みなし流転の相

二、北の国雪深けれど

その底には草は芽ぐめり

野山荒れ鳥潜めども

やがて来ん春の光に

万象の蘇る見よ

ここにあり不滅の生命

三、白楊のさやめく丘辺

秋深き梢揚げば

牙え渡る銀河の彼方

幽けくぞ星雲燃ゆる

胸に満つ久遠の思ひ

遙かなり真理の彼岸

四、限りなき流転の中に

生命あり不壊の学び舎

聞けや今窓の外遠く

新潮の入りくるひびき

よしさらば若人われら

踏まんな希望の門途

函館中学校校歌

(同窓会歌)

作詞 第二高等学校教諭

土井晩翠

作曲 東京音楽学校教諭

岡野貞一

一、玄冥の北の一道

関門の岸に臨みて

青春の薫にしろく

基おく育英の場

二、集い寄る千余の子弟

人生の花の綻び

身を鍛へ心を練りて

向上の一路を辿る

三、宇賀の浦万頃の水

駒が岳千仞の山

微を積みて高きに至り

滴より空をもひたす

四、形ある無言の教

仰げ我が紅顔の子等

業成らば双の方の上

興国の運も負へかし

五、母校の名子弟の誉

花と香と常に伴ふ

任重く道の遠きを

嗚呼健児勉めざらめや

編集後記

この原稿を校正している8月中旬、北海道バドミントン選手権大会の審判業務のため、函館アリーナを訪れています。この時期の函館を訪れるのは数年ぶりです。二〇二一年、東京オリンピックのマラソン競技を札幌で開催すること、函館を訪れて以来です。あの時は函館も気温三十四度と蒸し暑く、クーラーのないラッキープエロで大変な想いをしました。そのような記憶を思い起こしながら、今年の滞在期間は過ごしやすく、時より吹く風が気持ちよく感じました。いつもはJRが飛行機で函館に移動するのですが、今年は時間もあつたので学生の時ぶりに高速バスに挑戦してみました。乗車時間五時間半と聞くとやや敬遠したくなりますが、様々な景色を楽しみながらの乗車であつたという間でした。次も高速バスかとなると疑問符がつきますが、時間に追われている自分自身の生き方を問い直す良い機会になりました。残念なことは、やはりイカの刺身を満足に食べることができなかったことです。もう食べきれないくらい山盛りになったイカ刺を朝食で食べていた幼少期を羨ましく感じます。

(二〇四期 中村大輔)